

目 次

ヒューマンファクターズによる
事故，災害防止対策の現状と課題 (社)電気協同研究会主催
一失敗を活かすカルチャーの醸成に向けて 研 究 討 論 会

開会挨拶	正 田 英 介 (電気協同研究会 会長)	(4)
来賓挨拶	成 瀬 卓 也 (原子力安全・保安院 電力安全課長)	(5)
司会挨拶	堀 江 康 夫 (電力中央研究所社会経済研究所ヒューマンファクター研究センター長)	(5)

第1章 ヒューマンファクターズの重要性	行 待 武 生 (慶應義塾大学)	(7)
1-1 ヒューマンファクターズとは (定義)		(7)
1-2 ヒューマンファクターズとは (歴史)		(8)
1-3 ヒューマンファクターズとは (使命)		(9)
1-4 ヒューマンエラー対処法		(11)
1-5 再発防止から PSF 管理活動に向けて		(13)
質疑応答		(14)

第2章 ヒューマンファクターズによる事故・災害と法的責任	池 田 良 彦 (東海大学)	(17)
2-1 序—刑罰の強化は事故を減少させるのに効果的といえるか		(17)
2-2 事故・災害発生時の対応 (原因指向と責任指向)		(18)
2-3 法的責任とは		(18)
2-4 刑事過失論の変遷		(19)
2-5 刑事過失責任の考え方 (予見可能性と結果回避可能性について)		(21)
2-6 まとめ		(23)
質疑応答		(24)

第3章 各産業界における取組み実態と良好事例		(25)
3-1 建設業<請負多層構造への対策>	寺 町 久 志 (竹中工務店)	(25)
3-1-1 弊社の概要		(25)
3-1-2 建設業の重層構造		(25)
3-1-3 労働安全衛生法の規程		(26)
3-1-4 四重責任		(26)
3-1-5 労働安全性マネジメントシステム		(27)
3-1-6 方針展開		(27)
3-1-7 安全管理活動のフロー		(28)
3-1-8 危険作業事前打合わせ		(28)
3-1-9 危険作業事前打合わせの実施		(30)
3-1-10 安全情報システム		(30)
3-1-11 作業所での事例		(31)
3-1-12 安全ひと声運動		(37)

3-1-13	まとめ	(37)
3-2	石油化学産業(トップコミットメントの重要性)	丹羽 三千雄(東レ) (38)
3-2-1	「教範」は風土をつくる	(39)
3-2-2	災害の要因(その大半は不安全行動によるものである)	(39)
3-2-3	安全風土とは(職場に安全の風を吹かせ)	(40)
3-2-4	パトロールは生きた双方向管理(安全確保の基本)	(42)
3-2-5	災害を防止する五つのE(イー)手	(45)
3-2-6	木はてっぺんから枯れる(安全管理は人間管理)	(47)
3-3	輸送機器製造業<失敗を活かした人材育成>	手塚 則雄(三井造船) (48)
3-3-1	会社概要と失敗学セミナー	(48)
3-3-2	3大事故の失敗学	(51)
3-3-3	組織の特性と失敗	(51)
3-3-4	人間の特性と失敗	(54)
3-3-5	管理の形骸化・空白・盲点	(55)
3-3-6	失敗の未然防止と思考展開図, 失敗の知識化	(55)
3-3-7	まとめ	(57)
3-4	航空業界におけるCRM手法を用いた教育訓練	須藤 桂司(スターフライヤー) (59)
3-4-1	CRM(Crew Resource Management)	(59)
3-4-2	CRM訓練の必要性	(61)
3-4-3	CRMの変遷(CRM Generation)	(63)
3-4-4	CRM教育訓練体系	(66)
3-4-5	脅威に対するマネジメントとエラー・マネジメント(Threat and Error Management)	(67)
第4章	電力業界の現状と課題	(71)
4-1	電力におけるヒューマンファクター事故の現状と取組み	大植 康司(関西電力) (71)
4-1-1	昨今の流通部門のヒューマンファクター事故の特徴	(71)
4-1-2	ヒューマンファクター事故防止対策の変遷	(73)
4-1-3	昨今のヒューマンファクター事故要因の特徴	(73)
4-1-4	ヒューマンファクター事故対策の現状と今後の展望	(75)
4-2	電力中央研究所の取組みの現状-強固な安全文化の構築に向けて-	高野 研一(電中研) (79)
4-2-1	はじめに	(79)
4-2-2	ヒューマンファクター研究の流れ	(80)
4-2-3	具体的な取り組み	(81)
4-2-4	おわりに	(91)
第5章	会場討論	(92)
第6章	おわりに	堀江 康夫(電中研) (98)
第7章	誌面討論	(100)